

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			58
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			63
	規則性	常識的・順法的			55
積極型	競争性	勝気な・積極的			41
	自尊心	気ぐらいが高い			37
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			42

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「活動・身体性」であるが、「自制・慎重性」や「努力・規則性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

几帳面であり手掛けたことはとことん追求する徹底性もみられる。しかし、几帳面といっても、細かいことまでこだわるというより全体のまとまりを見たり、また、整理整頓は好ましいことだと思っけていても、いつもきれいでなければ気がすまないというほどではない。物事の判断のしかたは、堅実というイメージであるが、ときに突発的な発想をしたりもする。行動力もあり、身軽で多少の困難にも粘り強い姿勢で対応することができる。ただ、規則や秩序を大切にしている常識家であり、決定事項などは必ず守るといった社会通念が強いあまり、お堅い人との印象を与えることもある。新しい環境などには比較的とけこむのが早く適応力がある。初対面では馴染みにくそうに思われることもあるが、本人は誰とでも気軽に話すことができ、すぐに親しくなれるような庶民的な雰囲気がある。精神的にもわりと安定していて、常に自分のリズムを一定に保つことができる。世話好きで親切な側面もあり、集団のリーダー格として活躍できる可能性をもっている。

●もう一方の性格特性

おだてに乗せられる事がなく、自分自身をよく見つめている大人である。「分」をわきまえていて、すがすがしい印象を与える。決して自分をおごり高ぶらず、落ち着いている。それは自己信頼のためであると考えたい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			56
客観・科学型			37
社会・経済型			26
心理・情緒型			52
審美・芸術型			66

雑知能が妨害し、一面的な角度から物事を見ようとする。

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			55
協調性			56
責任感			71
自己信頼性			67
指導性			50
共感性			59
感情安定性			65
従順性			65
自主性			36
モットー傾向			44

自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持つとする。
自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。

多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。
反抗的などところは少なく、人の意見や指導に素直である。
指示をまって動くほうだが、大任であるとおろおろする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			52
自律 欲求			46
求知 欲求			50
危機 耐性			68
勤労 意欲			61
顕示 欲求			48
支配 欲求			52
親和 欲求			44
秩序 欲求			71
物質的欲望			61

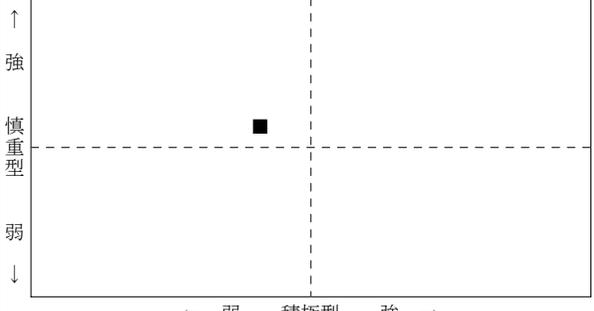
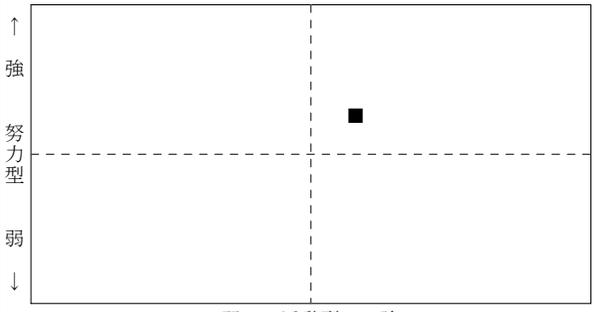
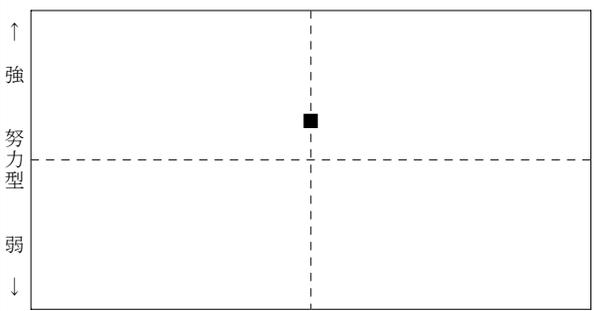
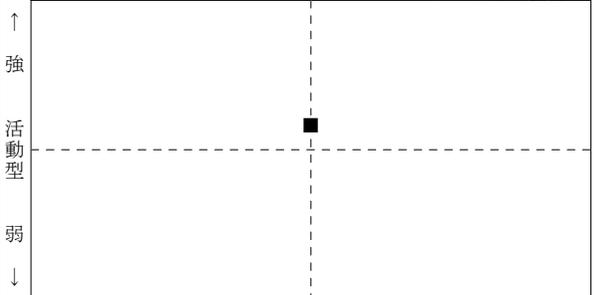
逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。
仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

自己範囲内の環境や物事は、キチンと整理しておきたい。
モノを獲得し保持したい、失いたくないなど物欲がある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、
ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。
逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

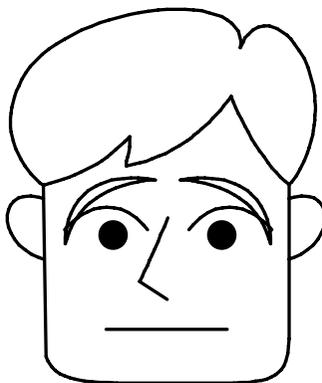
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気		管理・対人能力			思考能力							
積極 実意 行意	根気 強さ	決断 勇気	指導 力	自己 信頼	調整 力	折衝 力	独創 斬新	現状 分析	洞察 力	企画 立案	専門 知識	情報 活用
A	A B	A	A A	C	B B	C	C	B	C	D	E	C
A		B			C							

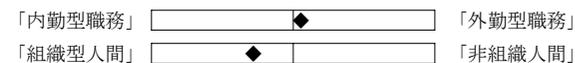
【採用判定】

定着性・安定性 = 17
 CUBICの判定結果 = 「A」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的な職場状況での可能性	██████████	76
(2) 海外など精神力の必要な職務	██████████	64
(3) 足腰のよさが武器になる職務	██████████	62
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	██████████	77
(5) 標準化された仕事や工場労働	██████████	80

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「最適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (3) 「最適」営業など対人的接触をとらなう仕事
- (4) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (5) 「小適」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」営繕専任者
- (2) 「最適」経理専任者
- (3) 「最適」経理管理者
- (4) 「最適」秘書専任者
- (5) 「適切」基礎研究者
- (6) 「適切」営業専任者

《低い順》

- (1) 「適度」研究管理者
- (2) 「適度」研究開発者
- (3) 「適度」企画管理者
- (4) 「適切」広報管理者
- (5) 「適切」広報専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」物流
- (2) 「最適」庶務
- (3) 「最適」秘書
- (4) 「最適」倉庫
- (5) 「最適」購買
- (6) 「最適」営業アシスト
- (1) 「小適」研究開発
- (2) 「適度」調査分析
- (3) 「適度」経営企画
- (4) 「適度」新規事業開発
- (5) 「適度」商品企画・開発